

京都SDGsパートナー登録証



安田産業株式会社は、
SDGs、CO₂ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

廃棄物処理業は「サービス業」に該当されます。これまでのサービスはA地点からB地点にモノを運びリサイクルすることでしたが、今後は、先端技術を活用し、廃棄物に関わるビッグデータを元に、サーキュラーエコノミーを地域企業と共創し、回収方法の刷新や創エネなど、新たな環境インフラ構築に進んでいきます。

●SDGsに関する重点的な取組●

社内稟議や共有書類等、紙媒体で使用していた物をクラウド上のデータで管理・運用・社内会議等にインタラクティブホワイトボード導入によるペーパーレス化を目指します。水耕栽培で製造した野菜を各取引先へ納品後、余った商品は社内販売を行うことで食品ロスゼロに貢献しております。

ICT・IOT・AI技術を取り入れたシステム構築に女性の人財を積極的に活用し、目標達成へコミットしています。

施設の選別機に最新の光学選別ラインの導入し、選別作業の簡易化による生産効率とライン能力の向上、それによる作業員の削減を実現。次世代配車システムの導入により、人の手で行っていた配車・配送ルート最適化を自動で行う事で、業務の効率化・省人化・走行車両の減少を実現し、働きがいのある職場の実現を目指します。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

祇園祭の山場となる山鉾巡行前の宵山行事期間中の課題となるのが廃棄物であり、環境負荷が大きいのが現状でした。約21万食分の使い捨て食器をリユース食器に切り替え、ボランティアとして参加した2000名のみなさんと共にエコステーションの設置、ごみの分別作業等を行い、燃やすごみを約半数に減量出来ました。

2022年7月29日
(登録番号:00067)

安田産業株式会社
安田奉春



京都市長
門川 大作

